

待望の全線開通を祝う 国道4号平泉バイパス

国土交通省岩手河川国道事務所が建設を進めてきた国道4号平泉バイパスが、8月5日に全線開通しました。すでに利用が開始されていた高館橋の南側2.4キロと合わせ、総延長5.8キロが通行可能となりました。同日は同バイパス上で開通式が行われました。

開通式には国土交通省東北地方整備局の久保田勝局長や達増知事、高橋町長ら関係者約70人が出席。テープカットとくす玉割り、関係車両のパレードで開通を祝いました。

同バイパスは昭和56年に事業着手、同59年に着工しました。総事業費は約260億円です。



1500人がのびのびと 夏期巡回ラジオ体操

生涯スポーツを広め、世界遺産登録推進を全国にアピールしようと8月14日、旧観自在王院庭園で「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が行われました。

会場には午前5時50分を集合時間に、親子連れなど約1500人が詰め掛けました。多胡筆さんの指導で、ピアノによるラジオ体操のテーマソングの伴奏に合わせて、参加者はのびのびと体操を行いました。

参加者には帽子やはがきなどが記念品として配布されました。



運行に向け講座と試験 語り部タクシーに44人

タクシー乗務員が史跡を案内する「語り部タクシー」の運行開始に向け、平泉観光協会が8月4日、町内史跡地などで乗務員を対象に養成講座を開きました。7日までの3日間で61人が受講。11日には認定試験も行い、44人が合格しました。

語り部タクシーは10月1日に運行を開始します。



安全、快適な道路を 「道の日」奉仕活動

(社)岩手県建設業協会一関支部平泉地区会員(5業者)は「道の日」(8月10日)にちなんで8月6日、快適な道路環境の維持を目的に、町道で清掃活動や街路樹の枝打ち作業を行いました。

2組に分かれ、町道鈴沢線での街路樹の枝打ちと町道東稲幹線での路肩除草を実施しました。

▶幽玄の世界をかもしだした中尊寺新能(8月14日)



古都の夏を 華やかに彩る

今年の夏も、町内では多彩な行事が繰り広げられ、過ぎゆく古都の夏が華やかに彩られました。恒例の大文字まつりは雨天のため「大」の字を見ることができませんでしたでしたが、中尊寺新能などのイベントには多くの見物客が繰り出し、迫真の舞や夜空に咲く花火など、風情あふれるひとときを堪能していました。



毛越寺前ポケットパークを優しくともした「夢灯り」(8月16日)



平泉中2年生とその保護者が、大文字の火床作りを手伝った(8月9日)



戦争のない世界願う 平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月8日、平泉郷土館でしめやかに営まれました。

太平洋戦争での町内の戦没者は305人。参列した遺族など約100人は、祭壇に花を手向けて静かに手を合わせ、戦争の犠牲となった肉親や先祖のめい福を祈っていました。



交通事故防止を 「梅干作戦」展開

町交通安全母の会連合会が主催する「梅干作戦」が8月9日、平泉・前沢インターチェンジ出入口付近で行われました。

ドライバーに「眠気覚ましに」と梅干しを配り、お盆の帰省や夏の行楽に伴う交通事故の防止を呼び掛けました。